

わく算2日目

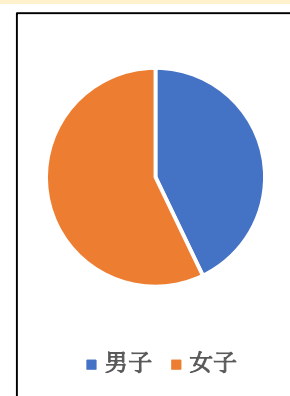
わく算2日目です。昨日は不安げだった子や泣きながら入ってきた子が、今日は明るい笑顔で元気にやってきました。場に慣れたこともあったのでしょうが、昨日「楽しかった」と思えたからというのが今朝の笑顔の一番の理由だと思います。昨日、さっそく役場に「子どもが大変楽しかったと言って帰ってきた。追加で参加をしたいくらい。」との連絡があったそうです。嬉しい連絡ですし、励みになりますね。



今日は、4人のシニアSP（SPのOB・OG）が来てくれました。わく算には、「参加したい」「SPさんと一緒に勉強したい」という子どもたちがたくさん来ます。そんな思いをもった子が一人でも多く参加できるように、毎年シニアSPにも助けてもらっています。脈々と続く、“SP文化”です。シニアSPは現役教員とあって、やはり動きが一味も二味も違いました。ぜひ、シニアSPと座席が近くなったSPさんは、子どもとの関わり方や言葉選びに注目してその指導を見てみてください。勉強になると思います。今日来てくれた4人のシニアSP、ありがとうございました。

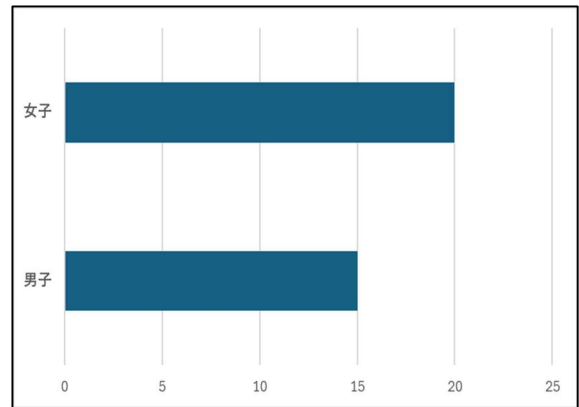
高学年でよくつまづく単元に「割合」があります。SPさんは根気強く、あの手この手でなんとか子供たちの「分かった」「できた」を作ろうとしてくれています。割合の単元で図を使って説明する時に、SPさんの多くが円グラフ（右図1）を使っているのを見かけます。ですが、教科書を見てみると帯グラフ（裏面図2）で説明がされています。なぜでしょうか……？大人からしてみると、円グラフの方がパッと見て分かりやすい人が多いのだと思います。また、教科書が帯グラフを使っているからと言って、みなさんが必ず帯グラフで説明しなければならないことはありません。子によると思います。円グラフの方がスッと入る子もいると思い

クラスの中で男子は何%？
という問題があったとすると……



<図1>

ます。どちらがその子にとってわかりやすいのか、子どもの反応をじっくり見ながら、試行錯誤してみてください。その経験がわく算ではたくさんできます。さらに、わく算には、算数・数学が専門のSPさんが何人かいます。ぜひSP控室で、SPさん同士で話をしてみてください。「これ、何で教科書は帯グラフなんだろう。」「子どもたちにとっては、どちらが分かりやすいんだろう。」せっかくの機会ですから、上手くいったこと、上手くいかなかったこと、そしてなぜそれが上手くいった（いかなかった）のか。こうした会話ができるのが、わく算です。楽しみながら、SPさん同士で高め合ってもらえたらと思います。



<図2>

